

なおみ

理念

安全・信頼・連携・地域密着
私たちは、地域に密着した病院として、他の医療機関や関係の方々との密接な連携のもと、安全で心の通った医療・保健・福祉サービスを提供し、患者さんや地域の皆さんから信頼され選ばれる病院を目指します。

「信頼され、選ばれる病院を目指して」

最近の話題

医療法人正観会
院長 三浦 邦夫

この夏は、かつて経験のない猛暑で、秋田市でも35度を記録した日もありました。この暑さを跳ね返すように病院では2つほど明るい話題がありました。

第一番目は、秋田市立御所野学園の生徒さんたちの社会体験学習です。これは、社会に出た時のために、いろいろな職場を経験するものです。当院では御所野学院高等学校の第一学年6名が8月1日から3日間見学実習しました。初めて看護師の白衣に着替え“ナースのお仕事”を経験しました。第一日目は病院紹介の後、先輩ナース3人の体験談を聞き、病院の見学をしました。どんな患者が入院しているのか？病院生活はどんなものか？等を学びました。午後は看護実技体験として血圧測定、脈拍測定、救命処置を実習し、車いすやストレッチャーの操作法を学びました。2日目は2A病棟で入院時の搬送などを職員とともに行いました。3日目は病院の“夏祭り”であり、準備、患者さんの誘導や片付けを手伝い、3日間の実習を終えました。病院に若い人がたくさんいたので活気がありました。後日、



寄せられた感想文では“血圧や脈拍測定を経験し看護師の仕事を実感した”とみんなが書いていました。少しでもこれからの進路選択に参考になればと思います。

二番目は赤十字看護大学に、老年介護の研修に来ている台北医科大学の看護学生5名が療養病棟である当院に見学に来たことです。

8月8日、留学生5名と教官1名が通訳1名を伴って来院しました。学生は男性1名女性4名で、病院見学の後、在宅センターを見学し褥そう対策や処置方法を紹介しました。昼食は院長、看護部長、次長、看護師2名を交えて、日本食の弁当を囲んで歓談し、食べ物の話、秋田の話など1時間楽しい時間をすごしたのち、リハビリテーション実施計画カンファランスに参加し帰って行きました。中国人の通訳さんが流暢に仲介してくれたおかげでした。



10月20・21日、奥羽線 秋田—東能代間を復活したC61型蒸気機関車が42年ぶりに“SLあきた路号”として6両の客車を従えて2往復しました。これは試運転の時に追分駅で撮ったものでヘッドマークはありませんが、迫力満点です。



立秋がとうに過ぎても連日のうだる猛暑のため、私は医者の不養生で“暑気あたり”気味となった。此れまでの人生で初めての経験である。

しかし9月に入って少し雨が降り、やっと熱帯夜から解放され早朝には肌寒さも感じられるようになってきた。

さて厚生労働省が推し進めている「在宅医療」は、分かりやすく言えば2本柱になっていてその一つは24時間体制での、訪問診療、訪問看護、訪問介護、訪問ヘルプ、訪問ケアマネジメントなどが有機的結合の下でおこなわれることである。当法人では在宅ケアセンターで訪問診療以外の業務を行っているが、マンパワーや費用対効果などの問題で、24時間体制をとっているのは、訪問看護と訪問ケアマネだけである。

もう一つの柱は、リハビリを行うことによって在宅患者のA D Lの維持向上を図り寝たきりにならないようにすることである。そのために通所リハビリ、訪問リハビリ（通所リハビリ困難な患者のため）に力を注ぐことになった。

ところで在宅医療のなかの訪問診療は、核となる地域の中小病院との連携が必ずしもうまくとれず、そこで厚生労働省は拠点病院となる「在宅支援病院」なるものをつくってそ

ことの連携を深めて在宅患者の流れを良くしようとしている。当院は「在宅支援病院」に参画することに手を挙げ「秋田往診クリニック（市原利晃所長）」と連携していくことにした。

このことによって何が出来るかと言えば軽症の肺炎などや数週間で自宅に戻れると予想される疾病の患者、またレスパイト入院（家族に何らかの都合があって面倒をみきれない期間、但し医師の管理下になければならない）を引き受けられることになった。

本来であれば、在宅医療は前述のように24時間体制で行えることを目指しているが、当院の訪問診療は訪問診療回数は増やせるが、医師の不足から24時間体制はとれないのが現状である。夜間、休日などは秋田往診クリニックと連携して対応したいと考えている。

在宅医療患者の寝たきりを予防しA D L維持向上のためのリハビリの強化は、通所リハビリと訪問リハビリが担うことになるがここにこれまで以上の力を注ぐことになった。当院でも、別棟に通所リハビリ部門を11月1日開所する予定でいる。詳細については後日発表の予定であり、暫くの間お待ち頂きたい。以上医療法人正観会の近況をご報告させて頂いた。



秋田大学医学部学生 による施設見学

9月27日、秋田大学医学部5年生による地域医療実習に伴う施設見学が行われました。院内の見学のほか、院長先生による保険医療制度についての講義、理事長先生からの地域医療についてのお話がありました。

デイサービスについて 聞きたい!!

～デイサービス編～

「なおみ」第2号の「介護保険について聞きたい」で、
デイサービスの内容をご紹介しましたが、今回は
具体的な1日の流れを追ってみました。皆様が利用者になったつもりでご覧ください。
それではご自宅のお迎えからスタートします!!

8:30 ご自宅へお迎え



車いすでも安心、
専門スタッフがお
伺いします!



スタッフより一言

車いすでもリフト
カーで安心して乗車
できます。

9:20 健康チェック～入浴 (レクリエーション)



看護師による健康
チェック。その後
レクリエーション
や入浴。



スタッフより一言

ナースが入浴前に血圧・脈
拍チェック行います。入浴
は入浴用キャリーなどを使
用して車イスの方でも安心
して入浴できます。

12:00 お食事・お昼休息



管理栄養士による
栄養バランス抜群
のお昼。



スタッフより一言

カロリー計算されたバラン
スの良い食事です。とくに
野菜を多く使ってますよ!

13:00 リハビリテーション レクリエーション



専門的なリハビリ
や時にはみんなで
野外レクリエー
ション。



スタッフより一言

PT・OT からの指導に
よりスタッフが丁寧に訓
練を行っています。

15:00 おやつ・休息



おやつを食べて、
ちょっと一休み。



スタッフより一言

月に1回誕生日会を行っ
ています。おいしいケー
キがです。

15:50 ご自宅へお送り



帰りもしっかりご
自宅までお送りし
ます。



スタッフより一言

みんな早く帰りがあってま
す。やっぱり家が一番だ
なあ～お疲れ様でした。

私たちが全力でサポートします!!

家でまったりしているのもいいですが、デ
イサービスにきて体を動かしてお風呂に入ってバラ
ンスの良い食事をとって健康的に過してみたい
かがでしょうか? スタッフ全員で待っています!



訪問看護ステーション

●こんな時、ご相談ください。

「たとえどんな障害や病気があっても、自分が一番居たい場所で、一番側にいて欲しい人に囲まれて過ごせたら…」

「実際に家庭で療養生活や介護することになってしまった。現在介護しているのだけど…どんなふうにしたらいいか不安」

具体的には？

サービスはご本人・ご家族と話し合いながらかかりつけの医師と連絡を取り進めていきます。

体・病状の観察

訪問リハビリ

床ずれの予防と手当て

カテーテル類の管理

排尿・排便のお世話と指導

注射

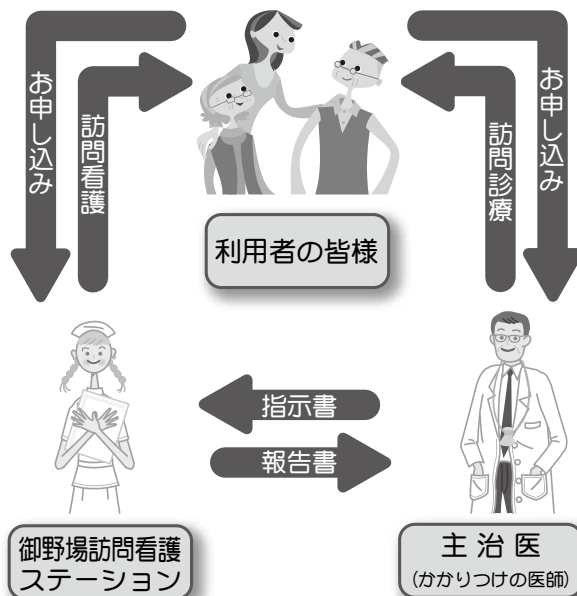
体をきれいにする。
(シャワー浴・入浴介助・洗髪・足浴・体を拭く)

ご家族への介護指導・及び相談ごとの対応

福祉制度利用のお手伝い

緊急時の対応

訪問看護ステーションの仕組み



訪問看護のお申し込みは…

訪問看護ステーションまたはかかりつけの医師・ケアマネージャーにご相談ください。



訪問リハビリについて

リハビリ専門スタッフ（理学療法士、作業療法士）がご自宅を訪問し、リハビリテーションをいたします。詳しくはお問い合わせください。



緊急時の対応

休日、夜間等に容態の変化があった時は、かかりつけの医師に連絡してください。



ホームヘルパーステーション

●こんな時、ご相談ください。

「調理、掃除・洗濯、買い物など生活全般にわたる援助をしてほしい」

「食事、外出、排泄、入浴などの身体介護をしてほしい」

ホームヘルパーが皆様のお宅に伺うまで

ご相談・お問い合わせ

～お気軽にお問い合わせください～

お宅訪問

ケアマネージャーがご利用になりたいサービスをうかがい、サービス内容、システムなどをご説明させていただきます。

サービス計画表作成

サービスさせていただく上で必要な情報をうかがいます。情報を元に自立援助をふまえ、ご利用者のペースに合わせたサービス計画表を作成します。

ご契約

～満足のいくプランが見つかったら～

サービス契約書に同意していただいた上で、ご契約となります。

介護サービスの実施

～ホームヘルパーがおうかがいします～

ご利用者のご家族の立場に立ったサービスをさせていただきます。

サービスの見直し

～さらにお客様に満足していただくために～

サービス内容

生活援助

● 調理

利用者のための調理、配膳、食後のあと片付け、食品の管理。



● 買い物

日用品や食料品など生活必需品の買い物

★買い物に伴う金銭管理には十分注意し、常に利用者の確認を得ながら、行います。



● 掃除・洗濯

家屋内の掃除（利用者が日常的に使用している居室、台所、トイレ、風呂場など）

ごみ捨て、布団干し、日常生活用品の整理整頓など。

日常的な衣類の洗濯、取り込み、整理。短時間でできる範囲の補修。



● 薬の受け取り

病院への薬の受け取り、役所などへの事務的な手続き（電話連絡など）



身体介護

● 整容・衣服交換の介助

朝の起床、着替えや整容・夜の就寝のための着替え、オムツ着用時の介助など。日常着の着脱や身づくろいを整える介助（整髪、爪きりなど）



● 外出の介助

買い物などの外出
病院受診時の介助

★車椅子での移動や歩行介助をします。

● 食事の介助

食事の介助、見守り（配膳から後片付けまで）



● 排泄介助

おむつ交換、失禁時の世話、トイレへの移動介助や見守り。



● 清潔・入浴の介助

身体を清潔に保つため、体を拭くこと、洗髪、手浴、足浴、浴室への誘導や見守り、入浴中の洗身など。

疾患その他の理由でヘルパーの範囲を超える内容については除きます。



夏祭り

8月3日(金)に第16回御野場病院「夏祭り」を開催しました。

催し物は雄和太鼓、下肴町竿燈会による竿燈妙技、あおぞら保育園児による歌と踊り、職員による盆踊りでした。雄和太鼓では、迫真の鉢捌きにみなさん見入っておられました。

竿燈では、手拍子と「どっこいしょ〜どっこいしょ」の掛け声が会場に湧いていました。保育園児の歌と踊りでは、みなさん自分のお孫さんを見ているかの様に、終始にこやかに顔をほころばせてい



ました。職員による盆踊りでは、体験学習に来ていた御所野学院高校1年生6名に参加してもらい会場を盛り上げてくれました。今年もご協力いただきましたボランティアの皆様はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

花火観賞会



8月10日(金)に第6回御野場病院「花火観賞会」を開催しました。

今年も晴れの天気となり無事に開催することができました。夜空に大輪の花が咲く度に会場が歓声に包まれました。みなさん目を輝かせて時間いっぱいご覧になっておりました。

御所野学院高校1年生 体験学習受け入れ



8月1日(水)〜3日(金)御所野学院高校1年生6名の体験学習を受け入れました。

初日の体験学習内容は先輩ナースの体験談、CPR(心肺蘇生)訓練人形を用いての心臓マッサージ、血圧測定、車椅子患者の移動介助などを学習しました。

2日目はストレッチャーで患者さんの入浴搬送の介助を体験しました。最終日は夏祭りの開催があり、会場まで患者さんの移動介助を手伝っていただきました。

3日間の体験学習を終え、みなさん将来の夢の職業を目指し、さらに志を強くしている様子でした。

台北医学大学看護学生 病院見学

8月8日(水)国際理解・国際交流の一環として台北(タイペイ)医学大学看護学生5名の病院見学を受け入れました。

始めに御野場病院の地域の役割と概要説明を行い、病院各フロアと在宅ケアセンターの見学を行いました。デイサービスの見学ではたいへん興味を持った様子で多くの質問を受けました。次に当院の褥瘡処置について説明しました。褥瘡対策マトレスの種類や当院の処置方法(プロペト+穴あきオムツ)、また褥瘡部分の定期的な写真撮影による観察に驚き又感心していました。(台北での褥瘡対策はドレッシング材の貼付による処置が主流、また写真は発生時と治癒時のみ撮影しているとのこと)

次に昼食の食事介助(配

膳や濃厚流動食の経管栄養投与)を見学しました。その後、お昼の会食を挟み、午後から実際に、病棟の実施計画カンファレンスに参加していただき、入院から退院までの流れについての説明を行いました。

今回の見学では日本の医療制度・介護保険制度等に変大興味をもってたくさんの質問、また核心をついた質問が多く当院としても有意義な国際交流を図ることができました。



栄養科より



今回は、『7月の夕食会』について紹介したいと思います。

当院では、毎月第4木曜日の夕食時に、季節に合った旬の食材を使って患者様に食事をお出ししております。

7月のテーマは『夏祭り』。夏の出店のような雰囲気を楽しんでもらうために、出店で人気のメニューを取り入れました。

やしそば、たこやき、つくね串を中心に、当院で人気のさっぱりとした揚げ茄子の南蛮漬

け、旬のミニトマトを使ったシロップ漬、彩鮮やかなオクラの含め煮、デザートには、水まんじゅうをお出ししました。

当日は、『祭』と大きく印刷された献立表と共に、患者様に提供しました。

患者様からは、「夏祭りの気分を味わうことができた」「久しぶりに焼きそばを食べることができて、とてもおいしかった」等の喜びの声が聞かれ、こうした嬉しい声が、私達の日々の活力となっております。



きざまない方の食事

きざみの方の食事